

「TechGALA Japan」の概要

1. イベントの目的

- ・GALA はフランス語で「祭典」を意味し、イベント名全体として「テクノロジーの祭典」を表します。
- ・先進技術（テクノロジー）を生かした持続可能な未来を築くため、国内外のスタートアップ、事業会社、投資家などが一堂に会し、新たな連携を創出する国際的な“場”の提供を目的としたイベント。既存産業の境界を越えていく新たな連携を生み出し、日本という地理的・文化的枠を越えて、当地域から世界へ接続するプラットフォームとして確立することを目指します。

2. 主催者

Central Japan Startup Ecosystem Consortium :

中経連、名古屋大学、愛知県、名古屋市、浜松市、岐阜県、三重県、静岡県をはじめ327の企業・団体・大学などにより構成。代表者は中経連会長の勝野哲。

3. 開催実績

(1) 第1回：2025年2月4日～6日

第2回：2026年1月27日～29日

第3回：2026年12月15日～17日（予定）

(2) 会 場：

- ・栄地区（ナゴヤイノベーションズガレージ、中日ホール&カンファレンスなど）
- ・鶴舞地区（STATION Ai など）

(3) 内 容

- ・著名なスピーカーなどによる多様なセッション
- ・短時間で協業や資金調達の可能性を探るスピード商談会
- ・世界の有望なスタートアップが出場するピッチコンテスト
- ・スタートアップや事業会社による展示
- ・多様な属性の交流を加速させるパーティー
- ・街中のいたるところで繰り広げられるサイドイベント

(4) 来場者数など（第2回）：

項 目	実 績	項 目	実 績
来場者数	約 5,500 名	参加国・地域数	39 カ国・地域
セッション数	約 140 回	出展数	約 250 者
商談数	約 1,050 件	サイドイベント数	約 120 件

（詳細はウェブサイトをご覧ください） <https://techgala.jp>

4. プロデューサー

おくだ ひろみ
奥田 浩美 氏

<略 歴>

- ・ムンバイ大学（在学時：インド国立ボンベイ大学）大学院社会福祉課程修了。
- ・1991年にIT特化のカンファレンス事業を起業。
- ・2001年に株式会社ウィズグループを設立。
- ・2008年よりスタートアップ育成支援に乗り出しスタートアップエコシステムビルダーとして活動開始。
- ・2013年に過疎地に「株式会社たからのやま」創業。地域社会課題×ITで何が出来るかを検証する事業開始。スタートアップと地域というテーマを軸に多くのアクセラレータ開催やスタートアップイベントの統括を行う。
- ・2020年に一般社団法人ヘルス・アンド・ウェルビーイング・アライアンス（HAWA）を設立し、ビジネスインキュベータープログラムを展開。エンジェル投資・LP投資も行っている。
- ・「TechGALA Japan 2025」、「TechGALA Japan 2026」のプロデューサーに就任し、当地域のスタートアップ・エコシステムの形成に寄与。現（株）ウィズグループ代表。



以 上